



第72回大島レース 帆走指示書

2022年 関東トラディショナルシリーズ(KTS)第2戦

2022年5月28日~5月29日

【SP】は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することが出来る規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。この項は、規則60.1、63.1、及びA5 を変更している。

【NP】は、この規則の違反は、艇による抗議の根拠にはならないことを意味する。これは、RRS60.1(a) を変更している。

【DP】は、この規則は、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減出来る規則を意味する。

1 適用規則

- 1-1 セーリング競技規則(RRS) 2021-2024に定義された規則。
但し、日没後から翌日の日の出までの夜間は RRS第2 章に代わって海上衝突予防法を適用する。
[DP]
- 1-2 ORC Rating Systems 2022。但し以下の通り変更する。
(1) ORC Rule 201.2 を変更し、搭載する飲料物、燃料の量を制限しない。
- 1-3 IRC 規則 2022、および日本セーリング連盟 IRC 規定(証書記載枚数よりも1枚追加されたスピネーカーの搭載を認める) [DP]
- 1-4 外洋特別規定 2022-2023【モノハル・カテゴリー3】及び付随するOSR国内規定
- 1-5 第72回大島レース レース公示
- 1-6 第72回大島レース 帆走指示書。ただし公示と帆走指示書との間に矛盾が生じた場合は本帆走指示書を優先する。

2 競技者への通告

- 2-1 競技者への通告は、大島レースホームページに掲載する。
(URL <https://www.hmyc.or.jp/oshima>)
- 2-2 通告を海上でおこなう場合は本部船にL旗を掲揚し、口頭により各参加艇に通告する。

3 帆走指示書の変更

- 3-1 帆走指示書の変更は2022年5月28日(土)09:00までに大島レースホームページに掲載する。
- 3-2 帆走指示書の変更は海上でL旗を掲揚した本部船より口頭で行うことが出来る。



大島レースホーム
ページURL

4 陸上で発する信号

レース運営に関する信号は陸上では発しない。

5 レースの日程

2022年5月28日(土) 10時45分 チェックイン締切り
2022年5月28日(土) 10時55分 予告信号
2022年5月29日(日) 16時00分 タイムリミット

6 レースの成立

タイムリミット内に1艇でもフィニッシュした場合に、レースは成立する。

7 クラス旗及びレース旗 [DP]

- 7-1 参加艇が掲げるクラス別の識別旗は、特にこれを定めない。
- 7-2 各艇はレース中、レース旗を掲揚してなければならない。
レース旗は上からJSAFバージ（小）、外洋レース旗の順に掲揚していること。
- 7-3 レース旗は自艇がチェックインを受ける時点からレース終了時まで掲揚してなければならない。レース旗の下端はデッキより1.5 m以上の高さで掲揚する。

8 コース

葉山沖 → 初島（反時計廻り） → 大島（反時計廻り） → 葉山沖（フィニッシュ）
距離 91マイル（成績算出に使用する）

9 マーク

スタート時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
フィニッシュ時にポートの端にあるマーク（アウターマーク）は黄色の円筒形ブイ。
尚、夜間はこのブイ上部に黄色のフラッシュライトをセットし明滅させる。

10 チェックイン [SP]

参加艇はスタート予告信号10分前までに、JSAF大旗とL旗を掲揚している本部船の船尾をスターボードタックで通過し、艇名、セールナンバー、乗員数を本部船に伝え出走の確認を受け、同時に本帆走指示書20-1に定める動作をしなければならない。

11 スタート

- 11-1 RRS26を用いて、予告信号をスタート信号前の5分とし、スタートさせる
- 11-2 予告信号旗はSORC大バージを使用する。
- 11-3 スタートラインはスターボードの端にあるスタートマーク（本部船）上にJSAF大旗を掲揚しているポール（マスト）とポートの端のスタートマークの間とする。
- 11-4 スタート信号の30分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。
（RRS A4の変更）
- 11-5 タート信号時に艇がRRS29.1 に従わなかった場合、本部船は音響信号一声と共にX旗を掲揚する。同時にVHFチャンネル72でその艇のセール番号を送達するよう試みる。送達の有無や送達時間の的確性に対しては救済要求の根拠にはならない。これはRRS 60.1(b)および41(c)を変更している。

12 フィニッシュ

- 12-1 フィニッシュラインはフィニッシュマーク上にJSAF大旗を掲揚している本部船のポール（マスト）とポートの端のフィニッシュマークとの間とする。
本部船のおおよその錨泊位置は 北緯35度16.62分、東経139度32.89分（葉山新港の赤灯を60度(MAG)、距離約0.9NMに見る位置）である。
日没後は本部船のマストに“赤色灯縦2つ”を点灯する。
- 12-2 夜間のフィニッシュはフィニッシュ後に本部船に口頭または国際VHFで自艇の艇名とセール番号を申告すること。[DP]
- 12-3 荒天やその他の理由で本部船が出航できない場合、或いは錨泊できない場合は、フィニッシュラインを葉山マリーナイエローハウス2FにJSAF大旗を掲揚したポールと、同ポールと12-1で示した本部船錨泊予定位置近傍に設置されたフィニッシュマークの間とする。
- 12-4 上記の場合(本部船がフィニッシュラインにいない場合)、艇はフィニッシュ時刻及び近くの艇の関連順位を、最初の妥当な機会にレース委員会に報告すること。（RRS付則L 13.2）

13 レースの中止

荒天等の理由でレースの中止をする場合は2022年5月28日08:00の時点でレース委員会が判断する。告知は大島レースホームページに掲載する。参加艇にはレース委員会から可能な限り連絡を取る。

14 ペナルティーの方式

- 14-1 海上でのチェックイン違反艇には、SPとして得点に1点を加算したペナルティーを課す。
- 14-2 スタート時 OCSと記録された艇には失格に替わる罰則として所要時間に5%を加算したタイムペナルティーを課す。(RRS A4の変更)
- 14-3 定められた通信を行わなかった場合はSPとして一回につき3分のタイムペナルティーを課す。
- 14-4 帰着申告の提出が正当な理由なくして遅れた場合は得点に2点を加算したペナルティーを課す。
- 14-5 DPについては、ワールドセーリングの指標に基づいて対応する。
- 14-6 その他、公示、帆走指示書に記載ない内容の違反についても、プロテスト委員会は、その裁量によりそのペナルティーを失格より軽減することが出来る。この場合も、ワールドセーリングの指標に基づき対応する。

15 タイムリミット

2022年5月29日(日) 16:00 (RRS35の変更)

16 日没、日の出の公式時刻

日没時刻 : 5月28日(土) 18:49

日の出時刻 : 5月29日(日) 04:30

17 帰着申告

- 17-1 参加艇はフィニッシュ後2時間以内にレース報告書並びに航跡図に必要事項を記載した帰着申告書をレース本部に提出しなければならない。Eメールによる提出も可とする。Eメール送付先はoshima_rc@hmyc.or.jpである。[SP]
- 17-2 ハンディGPSで航跡を記録した場合、航跡図は同GPSの提出を条件に23-2で規定する初島および大島回航時刻を記載するのみで可とする。

18 抗議と救済の要求

- 18-1 レース中に発生したケースに対し、抗議の意思がある場合にはフィニッシュ時に本部船にその旨を伝えなければならない(RRS61.1の変更)。
- 18-2 抗議の締め切り時間は自艇のフィニッシュ後2時間以内とする。
- 18-3 抗議に関わる事項は抗議締め切り時刻後1時間以内に大島レースホームページに掲載する。また各艇へ電話で連絡するがこれはサービスである。
- 18-4 抗議書の提出はEメールでも可とする。Eメール送付先はoshima_rc@hmyc.or.jpである。
- 18-5 本帆走指示書 10、17、18、19、20、22、23項 及びRRS55 については艇からの抗議、救済の要求の根拠にはならない。(RRS60.1の変更)

19 安全に関する参加艇の遵守事項 [DP]

- 19-1 JSAF外洋特別規定2022-2023【モノハル・カテゴリー3】の要件を満たしていること。
- 19-2 艇とレースコミッティー間の通信手段は携帯電話を使用する。従って下記の条件を満たした携帯電話2台以上を搭載していること。
- 19-3 参加艇はやむを得ない場合を除いて、レース中はライフジャケットを着用していなければならない。(RRS40の変更)
- 19-4 無線通信に関してはいかなる通信形態・情報も制限しない。これはRRS41の外部の援助に該当しない。
- 19-5 出艇申告後にスタートをしなかった艇及びレースを棄権した艇は直ちにレース本部まで連絡しなければならない。その連絡は艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。
- 19-6 乗員及び艇の安全に関わる場合は、エンジンの使用を認める。(RRS42.3(i)の適用)
この場合、当該艇はフィニッシュ後、レース委員会にできるだけ速やかに書面で、エンジンを使用した理由、日時 使用した時間等の状況を報告しなければならない。

20 乗員、装備及び計測のチェック (インスペクション)

- 20-1 艇は本帆走指示書10項に定めるチェックイン時にライフジャケットの着用とハーネスの携帯の確認を受けること。[DP]

20-2 レース委員会は、レースの公平を保持、安全を確保する為に、レース前の艇が本帆走指示書10項で定めるチェックイン完了後からレース終了のフィニッシュ直後までの間、全艇又は任意に抽出した艇に対して、随時にインスペクションを実施することができる。

2.1 乗員の変更

申告書に記載された乗員の変更は、下記時間内に書面(Eメールへの添付)で行うこと。

申込み時～5月27日 22時迄 **Eメール: oshima_rc@hmyc.or.jp**

5月27日 22時以降～出港時 : 本部船に書面で提出またはEメールで通知すること。

2.2 支援艇 [DP]

いかなる支援艇及び支援要員も予告信号以降、レース終了又は延期、中止となるまで全ての参加艇に近づくことを禁止する。 又、運営に支障をきたす行為も禁止する。
違反した場合は支援艇に関連した艇が抗議の対象となる。

2.3 ロールコール [SP]

23-1 (定時の報告)定められた時刻に**参加艇はレース本部に向けて通話又はロールコール送信フォーム**で報告しなければならない。

その時刻は、18:00、24:00、06:00、12:00 である。

レース委員会は、話中などによる通話の不調を避ける為、**ロールコール送信フォーム**による送信を推奨する。

23-2 (回航時刻の報告) 参加艇は初島西岸の「初島フィッシャリーナ」を方位90度に見たとき、および「大島竜王崎灯台」を方位0度に見たときの時刻を、そのつど出来る限り速やかにレース本部に**通話で報告**しなければならない。

23-3 参加艇はフィニッシュ1時間前コールを**通話で**レース本部に連絡しなければならない。

23-4 ロールコールの内容は自艇の位置、艇及び乗員の状況、海況等である。

レース本部 電話番号 **090-3687-3420**

23-5 各艇が行うロールコールの方法は、別に定める**通信に係る運用マニュアル**に従うこと。



ロールコール
送信フォーム URL

2.4 順位 成績

24-1 ORCクラスはデュアルスコアリングとしパフォーマンスカーブシステム(PCS OFFSHORE)により修正秒(CT)を算出する。

24-2 IRCクラスはタイムオンタイムにより修正秒(CT)を算出する。

24-3 CTで同順位の艇が存在する場合はレーティングの低い艇を上位とする。

2.5 賞

賞は次の通り用意される。

- ・ 大島レース杯はORCクラスデュアルスコアリングで1位の艇に。
- ・ IRC各クラスの1位、2位 3位の艇には順位賞を。
- ・ ファーストホーム賞。
- ・ その他 主催団体の意を汲み、実行委員会が後日定める特別賞。

2.6 表彰式

別途通知する

2.7 リスク・ステートメント

RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリン

グには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

28 問合せ

問い合わせ・質問は、艇名・質問者氏名・日付を明記し、Eメールでできるだけ箇条書きで願います。質問内容と回答は参加申込み者（連絡責任者）にEメールにて回答する。また質問の内容によっては大島レースホームページに開示する。

メール : oshima_rc@hmyc.or.jp
大島レースホームページ URL : <https://www.hmyc.or.jp/oshima>

以上



第72回大島レース

2022年 関東トラディショナルシリーズ(KTS)第2戦

2022年5月28日～5月29日

通信に係る運用マニュアル

艇の安全とレース運営を円滑に進める為に、帆走指示書とは別に以下の通り『大島レース通信に係る運用マニュアル』を設ける。

1： レース本部への連絡

定時ロールコール

話中などで通話が不調となることを避けるため、定時ロールコールはロールコール送信フォームによる報告を推奨する。

記載の通信により聴取した参加艇の情報は、大島レースホームページに随時掲載を予定している。
大島レースホームページ URL <https://www.hmyc.or.jp/oshima>

【ロールコール送信フォームによる通信方法、内容】

ロールコール送信フォームの URL (https://hmyc.or.jp/oshima_roll-call) から艇名、報告者氏名、位置情報、風向、風速、波高、乗員艇体について入力してください。



ロールコール
送信フォーム URL

【通話による通信内容】

目 的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	そ の 他
定時ロール コール	携帯電話 18:00 24:00 06:00 12:00	各艇から ↓ 本部へ 携帯電話	[参加艇] ① 艇名 ② 位置(経度、緯度) ③ 風向 ④ 風速 ⑤ 波高 ⑥ 乗員の状況	レース本部電話番号 090-3687-3420

初島・大島廻航時刻報告、1時間前コール及び非常時通報（通話のみ）

目 的	時刻・時間	接続方法	通話・報告内容と通信例	そ の 他
廻航時刻の 報告	携帯電話 帆走指示書 23-2項による 初島、大島廻 航後	各艇から ↓ 本部へ	[参加艇] ① 艇名 ② 廻航時刻 ③ 風向 ④ 風速 ⑤ 波高 ⑥ 乗員の状況	レース本部電話番号 090-3687-3420

1時間前 コール	携帯電話 帆走指示書 23-3項による	各艇から ↓ 本部へ	① 「セールナンバー XXXX、〇〇〇号1時間前コ ールです」 ② おおそよの位置 ③ 艇速、残航 ④ 乗員の状況	レース本部電話番号 090-3687-3420
レース中の 非常時通報	随 時	各艇から ↓ 本部へ	① 艇 名 ② 位置 (緯度・経度) ③ 連絡内容、気象・ 海象・艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同様の運用手 順とする。視認できる艇、船舶が あれば本部に連絡する。 090-3687-3420

2： レース中の国際VHF、携帯電話の状態

事故防止、捜索協力等のためにスタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にして
おく事を要望する。

本部艇は国際VHF **72ch**を常時通信可能な状態にしておく。特に夜間のフィニッシュに際しては有効に利用
されたい。

以上

主催： 日本セーリング連盟(JSAF)加盟団体 外洋湘南
運営： 第72回大島レース実行委員会 (一社)葉山マリーナヨットクラブ)
協力： 株式会社 葉山マリーナー